
小日向台町町会主催
環境ワークショップ・小日向台町小学校のこれからについて
第2回 令和5（2023）年1月22日

周知方法：町会掲示板のポスター、および町会Facebookで

内 容：第2回は小日向台町小学校のこれからについて
ワークショップ。

第3回は、令和5（2023）年3月19日

国家公務員宿舎（財務省跡地）のこれからを考える

1. 小学校のあり方

地域のシンボル

空が大きく自然が豊か

●空・自然

- ・卒業生が遊びに行きやすい
- ・空の広さ
- ・南に広い
- ・空が広い
- ・空間に憧れる
- ・建物の高さ承認
- ・ポワロの雰囲気
- ・住宅地の学校
- ・緑が必要
- ・土のある自然園
- ・田んぼで遊ぶ
- ・余裕を見て教室
- ・プールを地下に
- ・校舎も地下に

●シンボル

- ・しいの木残す
- ・校歌を忘れない
- ・ほんわかとした学校
- ・のびのびした
- ・憧れの学校
- ・理科園遊べる物
- ・たくさんの属性がある

人間性が育まれる

●人間性

- ・人を育む
- ・人間関係
- ・人間の社会性
- ・開かれた学校
- ・特徴ある活かす

●空間のあり方

- ・避難所機能
- ・地域の拠点機能
- ・ラジオ体操ができる
- ・10mの規定は厳しい
- ・教室は余裕をみて
- ・機能を盛り込む
- ・機能を盛り込みすぎではいけない
- ・間仕切で可動的な空間に

2.小学校のこれから

発想を自由に

●多様性

- ・持続性
- ・多様性
- ・自治体
- ・小学校仮校舎
- ・子供が学ぶ
- ・地域をあげて
- ・空間の多様性
- ・自由なレイアウト
- ・可動式
- ・基本を守る学校

●行政

- ・行政へ
- ・行政にかす
- ・行政の縦割り
- ・PTA区民全体
- ・地域指導
- ・広いスペースを使いたい
- ・武道館

グローバル化を考える

●グローバル

- ・モデル校
- ・グローバルを意識
- ・IT
- ・外国も考える
- ・ICT
- ・教員不足
- ・学校教師の参加
- ・増加している対応

コミュニティ機能を担う

●コミュニティ

- ・皆集まる
- ・地域と一体
- ・地域社会
- ・コミュニティ
- ・コミュニティスクール
- ・コミュニティのハブ
- ・学校と地域社会
- ・学校地域を考える

防災上の拠点

●防災

- ・防災に強い
- ・避難所
- ・避難用すべり台
- ・逃げる場所
- ・障害者対応

3. 小学校の建替について

椎の木は保存は必要

● しいの木

- ・ しいの木は大切
- ・ しいの木大きくなりました
- ・ しいの木移動は
- ・ 他の土地に植替え
- ・ 保存
- ・ 既建物はそのまま
- ・ 既存建物保存
- ・ 自然園は残す
- ・ 松は部会でも
- ・ 住宅街工夫の余地
- ・ B案
- ・ 財務省跡地
- ・ 公共公園の活用
- ・ 保存のお金は町会でためる
- ・ クラウドで資金
- ・ すんなり決まったわけではない
- ・ 役所に任せるべき

工事工程を短縮 できないか

● 工期

- ・ 8年の工期が長すぎる ・ 8年の工期が長すぎる
- ・ 8年の工期が長すぎる ・ 8年の工期が長すぎる
- ・ 8年の工期が長すぎる ・ 8年の工期が長すぎる
- ・ 8年の工期が長すぎる ・ 8年の工期が長すぎる
- ・ 工期短縮 工事中周辺が大変
- ・ 他の土地の利用
- ・ 道が狭いので工期がかかる
- ・ 道が狭いの工事が大変

仮校舎は 別の土地を考える ことはできないか

● 別の土地

- ・ 他の土地の利用
- ・ 財務省跡地利用
- ・ 拓殖大利用
- ・ 跡見大利用
- ・ プロセスデザイン
- ・ 地域の関わり方
- ・ 財務省跡地難しい
- ・ 目的外使用は無理
- ・ 都市デザインの
見直し
- ・ バスの活用もある

第2回目

2023年1月22日（日）13:30から15:30

都営住宅集会室

集会室参加者6名 リモート参加者13名

茗荷谷町会から2名 改築検討委員会から1名 計22名

挨拶：環境委員長 小林秀一

資料説明：小日向台町支部長 都市計画家 西郷真理子

ワークショップ：全員参加

